

たぎり新聞

08.8.N.155
 発行 市田日出夫
 責任 市田日出夫
 0863-88-5292



三日目に突入した法彩社谷村。少くもついですが、広がりを見せ、活動も多くなりつつあります。村民も、七月二十名で団体加入があり、二回の名にもなりました。一冊に二十名を登録して頂くと、村民証作りも大変です。地域の活動も、折々、小笠原校で自然体験の授業や、初田小学校親子キャンプ、アライナー（左の原真）に参加したりと、なんとか級立しているかなと楽しみです。特に、初田小は、子供が四人だけ、しかも、六年生が三人で、来年度は一人にするとという現実。ついでか、地域の中心の学校として元気に存続してほしいとの声です。

8月 祖谷村通信

その地にも、落合川、石鏡、研修があつたり、忙しく参加出来る。せんごしたか、そば、オーナ、の三輪を片、る含り、母さ、んが、畑作り、に来たりと、交流も、去す、ついでか、この

山に燈、こま

今治市 山本工士ごす

また、今治市の山本工士からは、「元気に山に登る」といふことと、祖谷村の旗と共に写った。猪、鹿にとられることなく、ばあばあ連のお世話で、順調に成育し、七月十八、十九日に芋堀りをして、また、赤芋は、一月にすると甘んば



祖谷村
 ばあば連
 ツカ芋
 白赤共に
 1kg 200円
 早いとの勝

ボンネットバス



また、祖谷村の活動とは、言えませんが、鳥の鳴き声、草の音、水の流れ、空の青さ、山の色、すべてが、心に残ります。祖谷村の活動は、山、川、田舎、自然、文化、歴史、すべてが、心に残ります。祖谷村の活動は、山、川、田舎、自然、文化、歴史、すべてが、心に残ります。祖谷村の活動は、山、川、田舎、自然、文化、歴史、すべてが、心に残ります。